

1. 件名 : OECD/NEA RWMC Expert Group on the Application of Robotic and Remote Systems in the Nuclear Back-endに関する面談
2. 日時 : 令和4年9月7日(水) 14時00分~14時30分
3. 場所 : 原子力規制庁 18階ワーキングスペース
4. 出席者
原子力規制庁
森下審議官
長官官房 総務課 国際室
齋藤室長補佐
技術基盤グループ 放射線・廃棄物研究部門
山田首席技術研究調査官、大塚主任技術研究調査官

原子力発電環境整備機構

技術部部長 山田 基幸

原子力エネルギー協議会 2名

東京電力ホールディングス株式会社 3名

中部電力株式会社 1名

関西電力株式会社 1名

日本原子力発電株式会社 1名

5. 要旨

○原子力発電環境整備機構(以下「NUMO」という。)よりNEA RWMC Expert Group on the Application of Robotic and Remote Systems in the Nuclear Back-end(以下「EGRRS」という。)の概要及び参加状況について説明があった。

○事業者側から、バックエンドに係るロボティクス等の新技術の導入に関し、現時点で規制が障害になっているとの認識はない旨の発言があった。これに対し、規制庁から、今後事業者において障害になりそうとの認識を持った案件が出てきた際には、規制側として話を聞く用意がある旨伝えた。

6. その他

資料：EGRRS（原子力バックエンドにおける遠隔・ロボットシステムの適用に関する専門家グループ）について